



簡易インストールマニュアル

最終更新 2024/05/27

はじめに

本マニュアルは、Eye “247” Work Smart プログラム（以下、「本製品」と記載します）のパソコンへのインストール方法について案内しております。下記に示す注意事項をご理解いただいたうえで、インストール作業を実施してください。

詳細設定については、「Eye247-WorkSmart Agent-ユーザーズマニュアル.pdf」をご参照ください。

動作環境

	Windows
OS	Windows 11 / 10
ユーザーアカウント	管理者権限を持つユーザーアカウントのみが、インストール・運用可能
メモリ	4GB 以上
ハードディスク	500MB 以上の空き容量
その他	VC++ランタイム : VC++ 2015 .NET Framework : .NET Framework 4.0 (FULL) 以降
Web ブラウザ	Google Chrome (推奨)、Microsoft Edge

※本製品は管理者権限を持つユーザーアカウントのみが、インストール・運用できます。また、1台の PC で管理者権限を持つユーザーアカウントが複数ある場合は、本製品をインストールした管理者アカウントでのみ運用できます。

※WindowsOS では必要な VC++ランタイムと .Net Framework がインストールされていない場合、本製品のインストール時にインターネット経由で自動インストールされます。インターネットに接続されていない端末に本製品をインストールする場合、VC++ランタイムと .NET Framework を事前にインストールしてください。

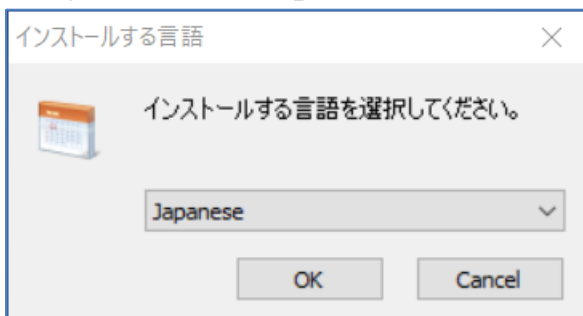
※Windows64bit 版 OS では、32bit 版と 64bit 版の両方の VC++ランタイムが必要になります。

1. クライアントPCでウェブブラウザを開いて、本製品のダウンロードページよりセットアッププログラムをダウンロードします。

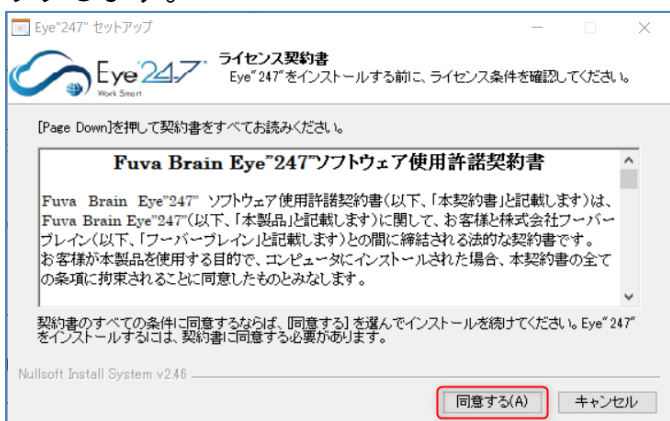
https://amd102.ahkun.jp/eye247/setup_SA.exe

2. 本製品のセットアッププログラム

「setup_SA.exe」を実行するとインストール言語を選択する画面が表示されます。インストール言語選択後に「OK」をクリックします。



3. ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。内容を確認のうえ「同意する(A)」をクリックします。



4. 本製品をインストールするフォルダを指定します。32bit版OSの場合、デフォルトのインストール先は

“C:\Program Files\Fuva Brain\Eye247”です。

64bit版OSの場合は、

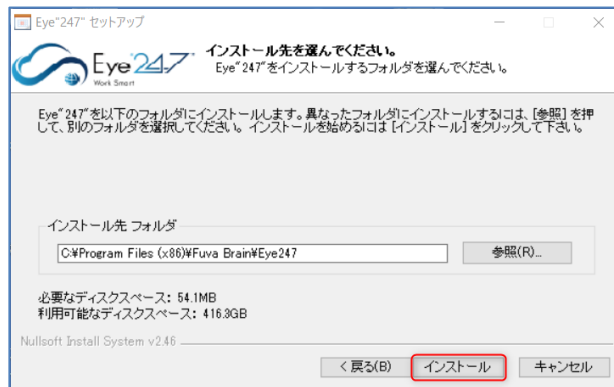
“C:\Program Files (x86)\Fuva Brain\Eye247”

となります。

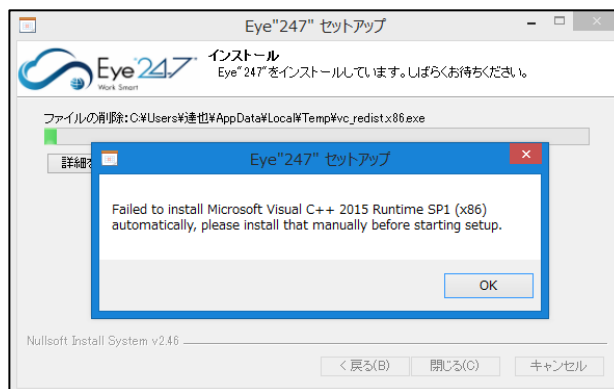
デフォルト通りにインストールする場合は、

「次へ(N)」をクリックします。フォルダを変更するにはフォルダパスを入力するか、「参照

(R)」をクリックしてインストール先フォルダを指定してください。



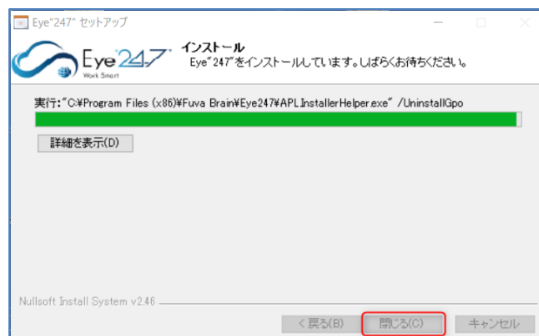
※本製品では Microsoft (R) 社の .NetFramework4.0 が必要なため、本製品インストールの際に自動的にインストールされますが、ネットワークの状態が不安定な場合は、.NetFramework4.0 のインストールが正常に行えない場合があります。その場合は、手動で .NetFramework4.0 をインストールしてください。



※本製品は Microsoft Visual C++ 2015 Runtime が必要になります。

上記のようなエラーが発生した場合は、最新の Windows Update が行われていない可能性があります。Windows Update を行い再度 Eye” 247” -WorkSmart-のインストールを実施してください。

5. 本製品がインストールされます。インストール完了後、「閉じる(C)」をクリックしてセットアッププログラムを終了します。



■ライセンス設定

弊社セキュリティソフトウェア

『Eye “247” AntiMalware』がインストールされている環境下では、当該メニューが表示されない場合があります。その場合、ライセンスの設定を行う必要はありません。

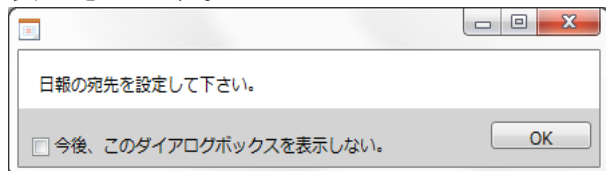
本製品がライセンス設定済みの状態で出荷される場合があります。その場合、当該メニューは表示されません。また、ライセンスの設定を行う必要もありません。

※Eye “247” Work Smart 単体でご利用の場合、あるいは『Eye “247” AntiMalware』がインストールされている状態でも以下の表示がある場合は弊社サポート窓口までご連絡ください。



■メール設定

本製品のインストールが正常に完了すると、初回起動時に、初期設定を促すメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると設定画面が表示されます。



1. 「設定」ボタンをクリックします。



2. 下記の情報をそれぞれ入力してください。

・ユーザー情報

名前：

メールの送信者として表示される名前です。漢字やローマ字で入力します。

メールアドレス：

送信元のメールアドレスを入力します。

・サーバー情報

SMTP サーバー：

メールを送信するサーバーのホスト名、または IP アドレスを入力します。

※SMTP 認証が必要なサーバーである場合、入力が必要になります。ポート番号が 465 である場合、SMTP over SSL を「有効」に設定してください。

ポート番号：

サーバーや暗号化方法により異なります。通常、25, 587, 465 のいずれかを入力します。

・ユーザー認証と暗号化

ユーザー名、パスワード：

設定するメールアドレスのユーザー名とパスワードを設定してください。

SMTP over SSL, STARTTLS, SMTP 認証：

ポート番号が 25 または 587 の場合は SMTP over SSL を「無効」にしてください。STARTTLS および SMTP 認証を使用しない場合、それぞれを「無効」に設定してください。

POP before SMTP：POP before SMTP による認証が必要なサーバーである場合「POP before SMTP を行う」にチェックした上で、「POP サーバー」「ポート番号」を入力してください。

・日報、週報、月報の宛先

TO/CC/BCC を選択した後、メールアドレスを入力して「追加」を

クリックします。複数の宛先を登録することができます。日報の宛先をそのまま週報や月報の宛先に設定することも出来ます。

3. 設定が終わりましたら、「テストメール送信」をクリックしてメールの送信テストを実行してください。メールの送信が成功すれば、設定は完了です。

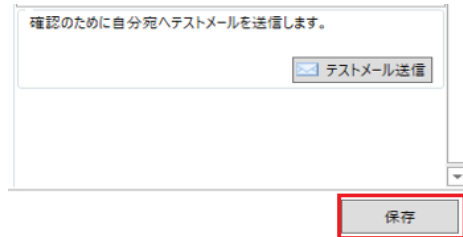
※テストメール送信では、ユーザー情報に設定したメールアドレスにテストメールが送信されます。

日報の宛先、週報の宛先、月報の宛先に設定した作業報告書の送付先アドレスにはテストメールは送信されませんので、ご注意ください。

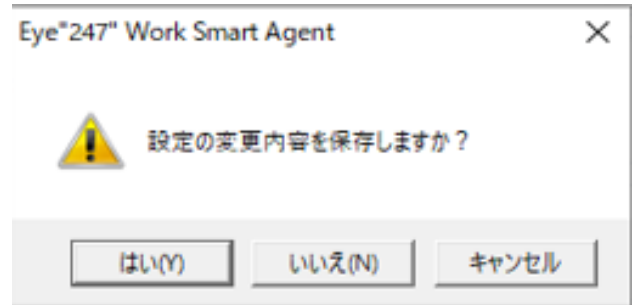
- ※ Gmail を送信元に利用される際は、Gmail OAuth 2.0 をご利用ください。
- ※ 詳細な設定方法は、ヘルプ(ℹ)よりユーザーマニュアルをご参照ください。



「設定」項目で設定した内容は、設定画面右下にある「保存」ボタンから保存ください。



設定内容に変更があって保存をしていない場合は下図のメッセージが表示され保存有無を決定できます。



【設定例】

主要な項目間の関係については、以下の図を参照してください。

